



2022年5月18日

各位

会社名 株式会社G S I クレオス
代表者名 代表取締役 社長執行役員 吉永 直明
(コード番号:8101 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 経営企画部長 小野 国広
(TEL. 03-5211-1802)

(訂正)「2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社が、2022年2月3日に開示いたしました「2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に訂正すべき事項がございましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、2022年5月13日に開示いたしました「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に訂正・変更はございません。

記

1. 訂正の理由

当社が、2022年2月3日に開示いたしました「2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、セグメント別の状況およびセグメント情報の記載の一部に誤りがあることが判明したため、訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容(訂正箇所には下線を付して表示しております。)

【添付資料2ページ】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<訂正前>

②セグメント別の状況

<繊維関連事業>

個人消費の持ち直しを背景に、アジアにおけるインナー用機能糸・生地取引や、欧米アパレルメーカー向け生地取引が増加しました。一方で、新型コロナウイルス感染防止用の医療・衛生消耗品の取引は、需要が一巡したことから減少しました。

以上の結果、当事業全体では、売上高は60,986百万円(前年同期は67,901百万円)となり、セグメント利益(営業利益)は、前年同期比2,137百万円減益の428百万円となりました。

<工業製品関連事業>

半導体需要の世界的な拡大を背景に、同関連商材の取引が好調に推移しました。また、化成品やその他工業材料につきましても、自動車関連をはじめとする国内外の製造業の回復にともない、取引が増加しました。前期収益に貢献したホビー関連商材の取引も、世界各国の市場で堅調に推移しました。

以上の結果、当事業全体では、売上高は21,718百万円(前年同期は19,891百万円)となり、セグメント利益(営業利益)は、前年同期比507百万円増益の1,660百万円となりました。

<訂正後>

②セグメント別の状況

<繊維関連事業>

個人消費の持ち直しを背景に、アジアにおけるインナー用機能糸・生地取引や、欧米アパレルメーカー向け生地取引が増加しました。一方で、新型コロナウイルス感染防止用の医療・衛生消耗品の取引は、需要が一巡したことから減少しました。

以上の結果、当事業全体では、売上高は60,986百万円（前年同期は67,901百万円）となり、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比2,027百万円減益の538百万円となりました。

<工業製品関連事業>

半導体需要の世界的な拡大を背景に、同関連商材の取引が好調に推移しました。また、化成品やその他工業材料につきましても、自動車関連をはじめとする国内外の製造業の回復にともない、取引が増加しました。前期収益に貢献したホビー関連商材の取引も、世界各国の市場で堅調に推移しました。

以上の結果、当事業全体では、売上高は21,718百万円（前年同期は19,891百万円）となり、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比397百万円増益の1,549百万円となりました。

【添付資料8ページ】

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

<訂正前>

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
セグメント利益	428	1,660	2,088	△352	1,736

<訂正後>

II 当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
セグメント利益	538	1,549	2,088	△352	1,736

以上